

令和8年度本庄市介護人材定着研修年間計画

No	対 象	実施形式	日 程	時 間	会 場	定 員	研 修 テ ー マ	内 容	講 師
1	管理者等	対面式	8月18日(火)	13:30～15:30	市民活動交流センター (本庄ガスeco) はにぼんプラザ (本庄市銀座1-1-1)	40	令和8年度介護報酬改定から読み解く人材確保のヒント～処遇改善加算の効果を高める運用と職場環境作り～	報酬改定の背景には、国が求める「良い事業所の姿」があり、そこには人材が集まり、定着する組織の共通点が隠されています。 令和8年度報酬改定のポイントを「人材確保のヒント」という視点から読み解き、“人が辞めない・人が集まる事業所”をつくるための具体的な実践策を提示します。 ※介護職員のみから介護従事者に拡大され、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅介護支援、地域包括支援センターも対象	おかげさま社会保険労務士法人 代表 山本 武尊 氏 社会保険労務士 主任介護支援専門員/社会福祉士/産業ケアマネ2級 ファイナンシャルプランナー2級/介護福祉経営士1級
2	中堅職員等	対面式	9月15日(火)				「最近、後輩が悩んでいる様子」 後輩支援における「安心していい場所(職場)」のレシピー心理的安全性の高め方	後輩が何か報告してきたとき、アイデアを出したとき、改善点を出したときに、必ず先輩が肯定的に受け入れてくれる事がわかっていれば、後輩の発言が増えます。先輩であるあなたに心理的安全性があれば「どうせ言っても」が「ちょっと聞いてください」に変わります。先輩職員であるあなたの受け止め方が、「安心していい場所」をつくれます。	一般社団法人 心理的安全性アンバサダー協会 代表理事 一般社団法人日本即興コメディ協会 専任講師 横内 浩樹 氏 インプロヴァイザー・インプロ・ファシリテーター
3	介護支援専門員	対面式	10月15日(木)				“あとで困る記録”にしない！ ～「記録の差」が支援の質を高める～	「何を書けばいいのか分からない」「あとで見返すと内容が伝わらない」 「人によって記録の書き方が違う」そんな“記録あるある”を感じる事は少なくありません。 記録は情報共有のためだけではなく、支援の質を高め、チーム連携を支える大切な役割があります。 支援経過記録を中心に、「伝わる・残せる・支援につながる」文書作成のポイントを、現場目線で分かりやすく学びます。	株式会社ハビタット 取締役 一般社団法人日本ケアマネジメント学会 認定ケアマジャーの会 理事 永沼 明美 氏 社会福祉士/主任介護支援専門員
4	居宅サービス	対面式	令和9年2月16日(火)				「昔の事業所ですね」と言われないために ～ケアマネジャーを疲弊させている場合ではない～	「昔からこのやり方だから」と非効率な業務や属人的な運営を続けていては、人も育たず、定着もしにくい時代になりました。 ケアプランデータ連携システムや生産性向上の視点を通して、ケアマネジャーが本来の支援に力を使える環境づくりを考えます。人材育成や業務改善を含め、“頑張り続けさせる職場”から“安心して働き続けられる職場”へ変えていくためのヒントをお伝えします。	株式会社トライドマネジメント 代表取締役 単独型居宅介護支援事業所 トライドケアマネジメント運営 長谷川 徹 氏 主任介護支援専門員